

平成 26 年 8 月 6 日

Fukushima Ambassadors Program VI 短期プログラム開催

ふくしまを世界に伝える^{アンバサダー}友好大使を 3 カ国から招聘

震災から 3 年が経ち復興の為の前向きな取り組みが数多く行われている。本学においても、海外の協定大学からの優秀な留学生を約 2 週間の短期プログラムに招き、本学の学生と共に地域住民等と交流を行うことで、福島の実況を正しく世界に発信すると共に、グローバルな視点を持つ人材育成と本学の国際化推進を図る。

今回 6 回目の実施となる本事業では、福島大学の協定大学から 3 カ国、合計 4 大学から短期留学生 13 名を招き、約 2 週間のプログラムを実施する。福島大学を含めた県内 3 大学に通う日本人学生及び外国人学生が語学アシスタントとして 50 名程参加し、被災地においてボランティア活動や、有識者との意見懇談会、被災地視察、ホームステイを体験する。

今回はアメリカ、ドイツ、中国といった複数国からの学生を招くことで、世界への情報発信体制を強化すると共に、参加者であるジャーナリズム専攻の学生を活かした媒体の活用と、積極的な福島の実況発信を行う事を目標とする。

短期留学生・外国人学生には、福島が直面している風評被害について理解してもらうとともに、母国に帰国後福島に対する実況を正しく伝達することが求められる。又日本人学生には、語学コミュニケーション能力の向上、海外留学先での情報発信能力に必須となる基礎知識の習得が期待される。そして学ぶ意欲が高い学生と地域住民を繋げることは「福島の実況を伝えたい」という地域住民にとって大きな力になる事が期待される。

実施時期： 平成 26 年 8 月 11 日(月) ～ 8 月 23 日(土)
学生参加人数： アメリカ サンフランシスコ州立大学 短期留学生 6 名(ジャーナリズム専攻)
コロラド州立大学 短期留学生 2 名(放射線医学専攻)
ドイツ ルール様大学ボーフム 短期留学生 3 名(東洋学など専攻)
中国 河北大学 短期留学生 2 名(日本語学など専攻)
学生ボランティア 約 50 名(福島大学、会津短期大学、東日本国際大学)
行程： 別紙日程案の通り

お問い合わせは：
総務課 国際交流センター
担当 マクマイケル
TEL 024-503-3066